

【経済モデル分析結果提出フォーマット】

研究機関名: 国立環境研究所

	チェック
別紙1 アウトプット一覧	
別紙1-1 2030	<input type="checkbox"/>
別紙1-2 2030・炭素制約なし	
別紙1-3 2020	<input type="checkbox"/>
別紙1-4 2020・炭素制約なし	
別紙2 発電コスト	
別紙2-1 2030	<input type="checkbox"/>
別紙2-2 2020	<input type="checkbox"/>
別紙3 時系列データ書き込み表	
別紙3-0 自然体ケース	<input type="checkbox"/>
別紙3-1 ゼロシナリオ' (2020年ゼロ)	<input type="checkbox"/>
別紙3-2 ゼロシナリオ (2020年14%)	<input type="checkbox"/>
別紙3-3 15シナリオ	<input type="checkbox"/>
別紙3-4 20シナリオ	<input type="checkbox"/>
別紙3-5 25シナリオ	<input type="checkbox"/>
別紙4 チェックリスト	<input type="checkbox"/>

<アウトプット整理表>
【2030年】

研究機関名: 国立環境研究所

【別紙1-1】2030年

○各ケースを試算した際の自然体からの変化率(2030年時点)を記載してください。□埋められる項目の全てを可能なかぎり埋めてください。

項目	単位	自然体ケースにおける 2010年比の値	自然体ケース (努力継続ケース比の値)	ゼロシナリオ' (2020年ゼロ) (追加対策後)	ゼロシナリオ (2020年14%) (追加対策後)	15シナリオ	20シナリオ	25シナリオ	備考 (実質価格の基準年などをご記入ください。)
GDP(実質)	% (自然体比)	24.4	2.2	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.4	2000年価格 以下同じ。
雇員報酬(実質)	% (自然体比)	36.7	-	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.4	
家計消費支出(実質)	% (自然体比)	9.0	3.3	▲ 2.6	▲ 2.2	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.6	
民間設備投資(実質)	% (自然体比)	50.5	1.1	2.2	1.9	0.4	0.4	0.2	
輸出(実質)	% (自然体比)	112.2	3.6	▲ 2.4	▲ 2.5	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 2.9	
輸入(実質)	% (自然体比)	44.1	23.9	7.3	4.3	2.5	0.8	2.6	
貿易収支の変化額(実質) / 自然体のGDP(実質)	% (自然体比)	-	-	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.8	▲ 1.1	
粗生産(全産業)	% (自然体比)	26.4	-	▲ 2.7	▲ 2.0	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.5	
粗生産(製造業)	% (自然体比)	43.1	-	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 1.1	
粗生産(エネ多消費産業)	% (自然体比)	6.8	-	0.3	0.7	0.4	0.4	0.5	
粗生産(資本財製造業)	% (自然体比)	77.2	-	1.3	1.0	0.5	0.5	0.8	
CPI	% (自然体比)	▲ 4.7	-	▲ 5.1	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 6.9	▲ 7.1	
電力価格(名目、間接税・炭素税を含む)	% (自然体比)	38.4	-	81.4	69.1	35.6	36.9	45.2	
電力価格(実質)	% (自然体比)	31.9	-	72.1	58.6	27.2	27.4	34.9	CPIを用いて実質化
家庭電力消費(名目)	% (自然体比)	31.6	-	9.3	8.6	6.7	5.6	6.3	産業分類に含まれない消費者サイドの需要
家庭電力消費(実質)	% (自然体比)	▲ 4.9	-	▲ 39.8	▲ 35.8	▲ 21.3	▲ 22.9	▲ 26.8	産業分類に含まれない消費者サイドの支払い額
光熱費(名目)	% (自然体比)	11.9	-	51.1	49.5	39.8	34.1	37.2	
光熱費(実質)	% (自然体比)	▲ 11.3	-	▲ 34.5	▲ 33.4	▲ 20.1	▲ 21.7	▲ 25.5	実質価格を算出した方法(何で割ったか)を記載下さい
ガソリン代(名目)	% (自然体比)	20.9	-	25.7	37.3	46.5	50.3	60.5	ガソリン価格を記載
最終エネルギー消費(実質)	% (自然体比)	▲ 8.7	-	▲ 6.7	▲ 7.0	▲ 7.8	▲ 8.2	▲ 10.4	
民生家庭エネルギー消費(実質)	% (自然体比)	▲ 18.4	-	▲ 20.7	▲ 31.0	▲ 37.7	▲ 40.7	▲ 48.1	
再生エネルギー比率	% (発電電力量比)	10.8	-	36.9	36.9	30.9	30.9	25.9	
発電電力量	% (自然体比)	-	-	▲ 18.0	▲ 21.5	▲ 20.3	▲ 21.4	▲ 21.1	
就業者数	% (自然体比)	▲ 15.5	-	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	
一人当たり労働時間	% (自然体比)	-	-	-	-	-	-	-	
失業率(失業率そのもの)	%	-	-	-	-	-	-	-	
利子率(名目、利子率そのもの)	%	-	-	-	-	-	-	-	
為替レート(名目為替レートそのもの)	% (自然体比)	-	-	-	-	-	-	-	
限界削減費用(実質)	円	-	-	16,920	14,649	6,007	6,569	7,896	
エネルギー起源CO2排出量	百万t-CO2	1,087	982	833	836	825	795	789	
	% (自然体比)	▲ 9.7	0.0	▲ 15.2	▲ 14.9	▲ 16.0	▲ 19.0	▲ 19.6	※自動計算
	% (90年比)		▲ 7.3	▲ 21.3	▲ 21.1	▲ 22.1	▲ 24.9	▲ 25.5	※自動計算

○各ケースを試算した際の自然体からの変化率(2030年時点)を記載してください。□埋められる項目の全てを可能なかぎり埋めてください。

項目	単位	自然体ケースにおける 2010年比の値	自然体ケース (努力継続ケース比の値)	ゼロシナリオ' (2020年ゼロ) (追加対策後)	ゼロシナリオ (2020年14%) (追加対策後)	15シナリオ	20シナリオ	25シナリオ	備考 (実質価格の基準年などをご記入ください。)
GDP(実質)	% (自然体比)	12.6	0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	
雇員報酬(実質)	% (自然体比)	15.7	-	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	
家計消費支出(実質)	% (自然体比)	7.4	5.8	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	
民間設備投資(実質)	% (自然体比)	24.6	2.6	1.2	1.2	1.3	1.3	1.1	
輸出(実質)	% (自然体比)	47.3	▲ 12.7	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.9	▲ 2.0	
輸入(実質)	% (自然体比)	26.2	30.5	▲ 0.0	0.6	0.9	1.1	2.0	
貿易収支の変化額(実質) / 自然体のGDP(%)	% (自然体比)	-	-	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.8	
粗生産(全産業)	% (自然体比)	14.7	-	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 0.7	
粗生産(製造業)	% (自然体比)	20.4	-	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 1.7	
粗生産(エネルギー消費産業)	% (自然体比)	9.6	-	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	
粗生産(資本財製造業)	% (自然体比)	31.0	-	0.3	1.0	0.6	0.5	0.7	
CPI	% (自然体比)	▲ 2.9	-	▲ 1.2	▲ 1.6	▲ 2.7	▲ 2.9	▲ 3.9	
電力価格(名目、間接税・炭素税を含む)	% (自然体比)	27.7	-	28.4	23.1	8.9	6.6	6.1	
電力価格(実質)	% (自然体比)	24.0	-	26.9	21.2	5.9	3.5	2.0	実質価格を算出した方法(何で割ったか)を記載下さい
家庭電力消費(名目)	% (自然体比)	22.8	-	21.7	20.6	8.0	5.6	4.4	産業分類に含まれない消費者サイドの需要
家庭電力消費(実質)	% (自然体比)	▲ 3.9	-	▲ 5.2	▲ 2.1	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.6	産業分類に含まれない消費者サイドの支払い額
光熱費(名目)	% (自然体比)	11.7	-	12.1	9.5	4.1	4.4	4.4	
光熱費(実質)	% (自然体比)	▲ 6.8	-	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 0.7	実質価格を算出した方法(何で割ったか)を記載下さい
ガソリン代(名目)	% (自然体比)	22.9	-	0.9	13.5	5.7	6.4	11.3	
最終エネルギー消費(実質)	% (自然体比)	▲ 0.9	-	▲ 0.4	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 0.8	▲ 2.5	
民生家庭エネルギー消費(実質)	% (自然体比)	▲ 10.3	-	▲ 2.1	▲ 0.4	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 13.9	
再生エネルギー比率	% (発電電力量比)	10.8	-	19.9	19.8	17.9	18.2	16.7	
発電電力量	% (自然体比)	-	-	▲ 3.1	▲ 1.9	▲ 5.9	▲ 1.0	▲ 5.7	
就業者数	% (自然体比)	▲ 7.3	-	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.5	
一人当たり労働時間	% (自然体比)	-	-	-	-	-	-	-	
失業率(失業率そのもの)	%	-	-	-	-	-	-	-	
利子率(名目、利子率そのもの)	%	-	-	-	-	-	-	-	
為替レート(名目為替レートそのもの)	% (自然体比)	-	-	-	-	-	-	-	
限界削減費用(実質)	円			1,346	2,703	2,104	2,378	4,375	
エネルギー起源CO2排出量	百万t-CO2		1,078	1,062	1,029	1,005	991	981	
	% (自然体比)	▲ 9.7	0.0	▲ 1.5	▲ 4.6	▲ 6.8	▲ 8.1	▲ 9.0	※自動計算
	% (90年比)		1.8	0.3	▲ 2.8	▲ 5.1	▲ 6.4	▲ 7.4	※自動計算

○以下のデータのうち事務局から提出した想定との調整の有無を記載ください

研究機関名: 国立環境研究所

事務局想定値との整合

	事務局想定値に、だいたい調整できたか。(○/×)					事務局想定と合わせられない場合は合わない具体的な部分、程度、とその理由(文章で)
	ゼロシナリオ'	ゼロシナリオ	15シナリオ	20シナリオ	25シナリオ	
最終エネルギー消費						モデルでの内生値のため、想定値とおおむね一致している。
発電電力量						モデルでの内生値のため、想定値とおおむね一致している。
発電電力量の構成						自家発電を別途設定しているために、想定値とおおむね一致しているが、少し差がある。
再生可能エネルギーの内訳	○	○	○	○	○	水力は、地熱、バイオマス等を含んだ値。
火力の内訳	○	○	○	○	○	
設備容量構成						
再生可能エネルギーの内訳	○	○	○	○	○	
火力の内訳	○	○	○	○	○	
資本費用	△	△	△	△	△	基準年については産業連関表の値を使用。経年変化については事務局想定をもとに、モデル内の設備更新を反映させる。
運転維持費	△	△	△	△	△	同上。
燃料費	△	△	△	△	△	化石燃料の国際価格については、事務局想定を使用。国内名目価格についてはモデルの内生値として計算される。
各産業毎のエネルギー原単位	△	△	△	△	△	自然体ではおおむね一致。
エネルギー起源CO2排出量	○	○	○	○	○	自然体についてはおおむね一致。各シナリオについては制約条件として設定。
原発の事故リスク費用	○	○	○	○	○	事務局想定値0.6円/kWhを使用。
系統対策費用	○	○	○	○	○	事務局想定値を使用。

各モデルでの想定	
系統対策を投資需要として想定方法	投資として設定。
再エネ増大や、原発をkwの増大の投資需要としての考慮の有無とその方法	投資として設定。
再生可能エネルギー導入のための政策変数(外生で強制/補助金(費用分のみ/国庫負担)/FIT(利益上乘せ・電力料金負担)など)	外生的に設定。他の発電の価格差を埋め合わせるための補助金を想定している。